

第30回村野藤吾賞、受賞者、受賞作品紹介



伊東豊雄 (いとう・とよお) 建築家

1941年生まれ。65年東京大学工学部建築学科卒業。65～69年菊竹清訓建築設計事務所勤務。71年アーバンロボット設立。79年伊東豊雄建築設計事務所に改称。

主な作品に「シルバーハット」、「八代市立博物館」、「大館樹海ドーム」、「せんだいメディアテーク」、「多摩美術大学図書館(八王子キャンパス)」、「2009高雄ワールドゲームズメインスタジアム」、「台湾大学社会科学部棟」、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」、「台中国家歌劇院」など。現在、「新青森県総合運動公園陸上競技場」が進行中。

日本建築学会賞作品賞、村野藤吾賞、ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、王立英国建築家協会(RIBA)ロイヤルゴールドメダル、朝日賞、高松宮殿下記念世界文化賞、プリツカー建築賞など受賞。

東日本大震災後、被災各地の復興活動に精力的に取り組んでおり、仮設住宅における住民の憩いの場として提案した「みんなの家」は、2017年2月までに15軒完成。その役割も、コミュニティの回復、子供達の遊び場、農業や漁業の再興を目指す人々の拠点などに発展している。今回の熊本地震に際しては、くまもとアートポリスのコミッショナーとして「みんなの家のある仮設住宅」づくりを進めている。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築のあり方を考える場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムが建つ大三島においては、2012年より塾生有志や地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。

台中国家歌劇院について

台中国家歌劇院は、台湾・台中市に建つ3つの劇場をもつ複合施設。敷地は台中市中心部の北西にある大きな街区の新市街地で、南東から延びる緑の都市軸を受け止める位置にある。

約2,000席の大劇場(グランドシアター)、800席の中劇場(プレイハウス)、200席の小劇場(ブラックボックス)のほか、ショップ、カフェ、レストラン、オフィスを含む内部空間には、厚さ400mmの鉄筋コンクリートの3次元曲面壁が立体的に連続する構造体により、かつて誰も体験したことのない流動的な大空間が作り出されている。2階と地下に劇場のメインフロアが置かれることで舞台の奈落やシャフトのボリュームの間を通り抜けられる1階と、上部に突き出た構造体の間を巡る屋上庭園は、誰もが自由に訪れることができる場所として開放されている。

まったく新しい構造形式への挑戦には、コンペティションから着工までに約4年、さらに竣工までに約7年の歳月を要した。

台中国家歌劇院

所在地 | 台湾台中市

竣工 | 2016年9月

設計 | 伊東豊雄建築設計事務所 大矩聯合建築師事務所

施工 | 麗明營造



南東側正面外観 写真提供：伊東豊雄建築設計事務所



2階ホワイエ 写真提供：伊東豊雄建築設計事務所



グランドシアター客席 (c)National Taichung Theater